第 34 週ー 複合の霊

鳥瞰	複合の膏油（複合の霊を予表する）は神の住まいと神の祭司の体系を油塗るためにあります。複合の霊は、神の霊のすべての面の集大成です。合計で十四の項目があります。神の霊は死の水を覆い抱いて、命を生み出します。神と人との関係において、エホバの霊があります。新約において最初の神聖な称号は「聖霊」です。キリストの復活の前、その霊はまだありませんでした。その霊は実際の霊です。イエスの霊にはキリストの人性、人の生活、十字架の要素があります。キリストの霊には復活の要素があります。イエス・キリストの霊は命を与える霊です。命の霊は神聖な命の豊富を伴っています。恵みの霊は三一の神の享受の要素を伴っています。七つの霊は七倍に強化された霊です。栄光の霊は、苦難を受けている信者の上で安息しています。神の霊はその霊です。	
	真理要点	経験適用
1日	1．複合の香油が一つの目的のため、すなわち幕屋と祭司を油塗るためであることを説明してください。 2．その霊が神の霊の集大成、総合計であるのは何故ですか？	1．複合の膏油に関する啓示は、出エジプト記第 1 章で与えられませんでした。それは第 29 章でさえなく、第 30 章の終わりあたり、神の住まいと祭司の体系が啓示された後に与えられました。このことが示しているのは、複合の膏油がもっぱら一つの目的のため、すなわち、神の住まいと神の祭司の体系を油塗るためであるということです。 2．キリストの霊には復活の要素があります。イエス・キリストの霊には人性、人の生活、十字架、復活のすべての要素の満ちあふれる供給があります。命の霊には神聖な命の豊富があります。命を与える霊は神聖な命を分け与えるためです。主なる霊には昇天と主権の要素があります。恵みの霊は、神聖な豊富をわたしたちの享受としてわたしたちに供給するためです。七つの霊は七倍の強化のためです。最後に、その霊は前述の称号のすべての要素を含みます。ですから、その霊はすべてを含む霊です。
2日	1．エホバという名が「ある」という動詞から派生したことを説明してください。 2．どのようにしてエホバがアブラハム、イサク、ヤコブの神であると証明しますか？	1．エホバは、昔おられ、今おられ、やがておられる方です。実は、「ある」という動詞は神にのみ適用され得るのです。神だけが今おられ、昔おられ、やがておられます。わたしたちの命は短いのです。もしわたしたちが神を持たないなら、存在し続けないでしょうし、実は今でさえ存在していません。「ある」という動詞は基本的な動詞です。他のあらゆるものはこれにかかっています。 2．神はモーセに、「わたしは、『わたしはある』である」と言い、イスラエルの子たちに、「『わたしはある』が、わたしをあなたがたに遣わされた」と告げるように言った後、続けて彼に言われました、「イスラエルの子たちにこう言いなさい、『エホバ、あなたがたの父祖の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神が、わたしをあなたがたに遣わされた』。
3日	1．「聖霊」という称号の用いられ方と霊的な意義について説明してください。 2．「聖」と「霊」の言葉の意味について説明してください。	1．「聖霊」という神聖な称号は、新約における新しい啓示です。この称号は、旧約では用いられていません。この神聖な称号が最初に用いられているのは、神が入って来て主イエスの先駆者［ヨハネ］を準備した時、キリストのために人の体を準備した時です。これは、聖霊が神の肉体と成ることと関係があることを示します。 2．霊は神の性質、神のパースンの性質を指しており、聖は神の性質の属性を指しています。神の性質は聖です。肉体と成ることは、神の性質を人の中へともたらす事柄です。神は、彼の選ばれた民を神聖な性質において聖として、彼が聖であるように、彼らが聖となることを願われました。
4日	1．ヨハネ第 7 章 39 節で言われている、キリストが復活する前、その霊はまだなかったという真理を説明してください。 2．ローマ第 8 章 9 節でパウロが言った、キリストの霊にはどのような霊的な意義がありますか？	1．ヨハネによる福音書第 7 章 39 節が示しているのは、キリストの復活の前、その霊（他の要素と複合された霊）は「まだなかった」ということです。神の霊は初めからありましたが、主がこの言葉を語ったとき、キリストの霊またイエス・キリストの霊としてのその霊は「まだなかった」のです。それは、まだ彼の栄光が現されていなかったからです。イエスが復活させられた時、彼の栄光が現されました。 2．キリストの霊は主の死と復活と関係があります。キリストの霊は、死を経過して復活の中へと入った方の霊です。主の死はすべてを含む終結であり、主の復活はすべてを含む発芽でした。ですから、キリストの霊は、すべてを含むキリストと彼のすべてを含む死と復活の総合計、集大成です。
5日	1．パウロが、その霊は彼にとってイエス・キリストの霊であると言っているのは何故でしょうか？ 2．複合の霊が恵みの霊であることについて、その内在的な意義を説明してください。	1．主の人性を経験するために、わたしたちはイエスの霊を必要とします。主の復活の力を経験するために、わたしたちはキリストの霊を必要とします。パウロは苦難を受けた時、主の人性における苦難と主の復活の両方を経験しました。ですから、パウロにとって、その霊はイエス・キリストの霊、すなわち、三一の神の複合の、すべてを含む、命を与える霊でした。 2．恵みの霊には三一の神の享受の要素があります。この要素は恵みです。その霊のこの面は、三一の神の享受と関係があります。なぜなら、三一の神ご自身がわたしたちの恵みであるからです。その霊が恵みの霊であることが意味するのは、三一の神が御子の中でその霊としてわたしたちの享受となることです。その霊はわたしたちに届く三一の神です。
6日	1．啓示録において、その霊が七つの霊と呼ばれることの霊的な啓示とは何でしょうか？ 2．七つの燃えるともし火としての七つの霊と、小羊の七つの目としての七つの霊は、機能においてどのような違いがありますか？	1．啓示録で、その霊は七つの霊、七倍に強化された霊と呼ばれており、召会の堕落に対抗します。七は神の活動における完全の数ですから、七つの霊は、地上での神の行動のためでなければなりません。実質と存在において、神の霊は一です。強化された機能と神の活動の働きにおいて、神の霊は七倍です。 2．七つの燃える火のともし火としての七つの霊は、照らし、燃やすためですが、小羊の七つの目としての七つの霊は、観察し、探り、注入するためです。主がわたしたちを照らし、裁くとき、彼はわたしたちを見つめ、彼の目としての七つの霊を通して、彼はご自身をわたしたちの中へと注入してわたしたちを造り変えます。
まとめ	李兄弟は 1990 年 4 月の長老訓練で、「その霊」について神学上５つの点がなおざりにされていると語りました。１．その時、その霊はまだなかったこと。２．最後のアダムが命を与える霊となったこと。３．複合の霊。４．命の霊。５．七つの霊。大多数のクリスチャンはその霊に対する理解として、大半は能力と働きのためだと認識しています。しかし、この務めを通して、その霊のパースンと地位、神の機能と務め、三一の神の全てがわたしたちに及ぶために、このすべてを含む霊が神の霊のあらゆる面の集大成であるという、神聖な啓示を見る必要があります。それはまた、わたしたちの霊を活用することによって、経験し、実際化されます。	